葦 (yoshi)

市川市立第七中学校　学校だより
No,１０　　令和５年２月２８日
学校教育目標
「豊かな心を培い、たくましく生き抜く力を育てる」
～　穏やかな教育環境から　～

コロナ 2019

新型コロナウイルス感染症の名称が「コロナウイルス感染症 2019」となる見通しです。もはや、「新型」ではなく「日常に存在する感染症」ということだと思います。３月１３日からはマスクの着用も個人の判断となり（※学校への適応は令和５年度から）、ゴールデンウィーク明けの５月８日からは感染症法での位置づけが、それまでの２類からインフルエンザと同等の５類へと変更になります。

それに伴い、学校での教育活動も変化していきます。今まで制限されていた対面での活動や集会活動、校外でのふれあい活動などを再開していきます。オンラインではなく、人と人が同じ空間で目を合わせながら行う活動は、心により強く響き、記憶に鮮明に残る気がします。

今後、マスクの着用等については生徒の判断になってくると思います。大切なことは、自分の意見や考えを持つこと、そして周りの人のことを思いやること、の二つです。この両方を考えられるような生徒指導をしてまいります。

中学生が先生？

２月２４日に３年生による小学校への出前授業がありました。理科の内容をグループごとに考え、新浜小学校の６年生に対して授業を実施しました。

環境問題や宇宙の不思議などとても分かりやすく、そして楽しく教えてくれました。授業後は大きな拍手とともに「また来てください！」とのアンコールを受けるほど大好評でした。

学んだ知識をアウトプットすることで、さらに深い学びになります。今後もこのような機会を増やしていきます。









第４回学校運営協議会

２月９日（木）に今年度最後の学校運営協議会が開かれました。
12 月に実施した学校評価アンケートの集計結果に基づきながら １ 年間の学校運営を振り返り、様々なご意見をいただきました。

また、令和５年度の学校運営方針を承認していただきました。来年度は、以下の６点を重点として学校運営を進めてまいります。どうぞご理解ご協力をお願いいたします。

① 多様性を認め人権を大切にする教育活動の展開
② 一人一人を大切にする生徒指導の実践
③ 交流活動、読書活動の推進
④ 相手に軸を置いた保護者対応
⑤ 部活動や体験活動における地域との連携
⑥ 教職員の業務の平準化と働き方改革の推進







校長室でランチミーティング

毎週木曜日は、校長室に生徒を招待して一緒に給食を食べています。生徒会の本部役員、各委員会の委員長、部活動の部長、白樺学級の生徒など９月から 60 人以上の生徒たちと食事をともにしました。

趣味やアニメの話、学校生活や先生方の話、また学校への要望など、昼休みにかけて話を聞かせてくれました。今後も続けていきます。



職員の離退任について

今年度末の職員離退任につきましては、３月 24 日（金）の修了離退任式を行い、生徒に発表する予定です。保護者の皆様には、式後に一斉メールでお知らせいたします。

なお、異動先につきましては、後日新聞発表後、同メールにてお知らせいたします。七中のために尽力いただいた職員に、感謝するとともに新天地でのご活躍をお祈り申し上げます。

文責　校長

※ＨＰにはタイムリーな学校の様子等がアップされています。
緊急時の連絡をお伝えすることもあります。ＨＰの登録をお願いします。